

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		県西都市統計事務研究会参画事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	060301000304
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	010201
		0603 時代にあった自治体運営						課長名	企画課
		政策名						グループ	企画G
		06 03 時代にあった自治体運営						担当者名	
		01 ①計画的な行政運営							
		手段名							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	05	01	01	00	単年度繰返し (昭和63 年度~)		
法令根拠						統計調査総務事業		期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>昭和63年度から県西地区にある8市で構成されている統計事務研究会。統計行政の円滑な運営を図るため事務及び統計調査技術の研究・研修を行い統計事務を携わる市の担当職員の資質の向上を図る。結成当初は負担金を徴して運営していたが、平成21年度からは負担金は廃止して残金で運営している。1年ごとに輪番制で事務局が替わる。</p> <p>令和2年度は笠間市が事務局、令和3年度は桜川市が事務局。令和4年度は筑西市が事務局。令和5年度は結城市が事務局。令和6年度は常総市が事務局。</p>	<p>令和3年度は桜川市で事務局を担当し、令和4年度は筑西市へ事務局を引継ぐ</p> <p>・総会の開催 (書面決議)</p> <p>毎年、統計実務者研修会及び総会への出席。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
・統計実務者研修会及び総会への出席	研修会開催	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	総会開催	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
県西地区8市の統計担当職員	統計担当職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
統計担当職員の資質の向上を図る	研修会出席者	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	総会出席者	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	0		
		事業費計 (A)	千円	0	0	0		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳							
		合計	0		合計	0	

(4) 当該年度の実施内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

08年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	統計実務者研修会及び総会への出席	統計実務者研修会及び総会への出席	統計実務者研修会及び総会への出席
-----------------	------------------	------------------	------------------

事務事業名	県西都市統計事務研究会参画事業	事務事業No.	60301000304	所属課	企画課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和63年度から県西地区にある8市で構成されている統計事務研究会。 統計行政の円滑な運営を図るため事務及び統計調査技術の研究・研修を行い統計事務を携わる市の担当職員の資質の向上を図るために始まった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
統計事務の情報交換の場として必要な研究会であると各市統計事務担当職員は感じている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 適切な統計事務運営に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県西地区8市で結成された予算を伴わない統計業務研究の組織であり妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 会議等への出席率はよく、特に向上の余地はない。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 統計担当職員の情報交換の場として活用されており、無くなると影響はある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 適切な人数で開催する統計研修の場が他にないため、他に手段はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 予算がないため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本研究会予算については、加入市からの負担金の廃止後、その残金を運用して活動していた。毎年各統計調査では、県の担当者を招いて統計調査の理解を深めるための研修を実施された。																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>